

2025年度 北見藤高等学校シラバス

【教科】 【科目】	【英語科】 【論理表現Ⅰ】	3年	2 単位	教科書	Vision Quest English Logic and Expression I Standard (満1709)	副教材等	Vision Quest English Logic and Expression I Standard WORKBOOK	履修対象・ 使用教室 等	3年アクティブ 各HR教室
教科・ 科目 の 目標	日常的・社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、 1. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合ったり、やり取りを通して必要な情報を得たりすることができる。 2. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができる。 3. 基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができる。								
評価 の 観点	知識・技能		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			
	○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解し、外国語の音声、語彙・表現、文法の知識を身に付けている。 ○外国語の音声、語彙・表現、文法を、4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている		○場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について、情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語で的確に理解したり適切に表現したりしている。 ○外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して、場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について外国語を話したり書いたりして、情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合っている。			○外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。 ○外国語の学習を通じて、言語やその背景にある文化を尊重し、自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。			
評価 方法	＊単元などの授業内容のまとまりごとに「評価の観点」に基づいた観点別評価を行い、【A:「十分満足できる」状況 B:「概ね満足できる」状況 C:「努力を要する」状況】とする。 ＊単元などの観点別評価に基づいて、学習全体の総合的な評価を行ったものを「5段階の評定」とする。								
評価 資料 ・ 評価 比重 【100点換算】	評価資料等		予定回数・内容等			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	単元テスト		6 回			60	60	20	
	課題		不定期（長期休暇や単元テスト毎）			20	20	40	
	教科書、ワークチェック		不定期（長期休暇や単元テスト毎）			20	20	40	
	【観点別配分％】		（3観点の比重を％で示しています）						
月進行 【計画】	【単元名】 学習項目名	配当 時間 【計画】	学習内容・目標（到達点） など			主な評価資料		評価の重み付け（◎○）	
						知・技	思・判・表	態度	
4 5	Lesson7 I'm happy to have you with us.	14	・誕生日を舞台に繰り広げられる友人同士の自然な会話のやり取りから、感情を表す様々な表現を学ぶ。文法 不定詞：不定詞の様々な用法を学び、より詳細な情報を伝えることができる。 ・感謝・謝罪・弁解する際に頻繁に使用される表現を学び、会話の相手に感情を適切に伝えることができる。 ・受け取った贈り物について詳細に伝えることができる。			単元テスト	○	○	
						ワークブック			○
						教科書点検			○
						その他課題	○	○	○
6 7	Lesson8 What sport do you like playing?	18	・スポーツチームについて発話される会話からチームに誘ったり、見学を勧めたりする表現を学ぶ。 ・動名詞の様々な用法を学び、動名詞句を使用した多様な文で伝えることができる。 ・相手を誘ったり、申し出たりする表現を使うことができる。また、相手に物事を適切に推薦することができる。 ・スポーツをすることの利点について発表することができる。			単元テスト	○	○	
						ワークブック			○
						教科書点検			○
						その他課題	○	○	○
8 9	Lesson9 Digital media has come a long way.	13	・留学生とのやり取りから、メディアを通じたコミュニケーションについて意見を述べたり、情報を加えて詳しく説明する会話を学ぶ。 ・名詞を修飾する用法や補語になる用法、また分詞構文や付帯状況を表す分詞を用いて表現することができる。 ・人や物事について情報を加えて詳しく説明することができる。また、判断の根拠を示す表現を使用して論理的に伝えることができる。			単元テスト	○	○	
						ワークブック			○
						教科書点検			○
						その他課題	○	○	○
10 11	Lesson10 That's why I decided to go back.	14	・日本や他国の文化や習慣について話されるやり取りから、日本特有の言葉や文化、また異文化について紹介したり、違いについて述べる会話表現を学ぶ。 ・関係詞を用いて複文を作り、語句を限定したり補足説明を加えたりできる。また、複合関係詞を用いて譲歩の意味を表すことができる。 ・人や物事、経緯を詳細に説明したり、言い換えや要約することができる。 ・日本の文化や人たちについて紹介することができる。			単元テスト	○	○	
						ワークブック			○
						教科書点検			○
						その他課題	○	○	○
12 1	Lesson11 Which do you prefer, cheaper beans or expensive ones?	11	・ファクトレード（公正取引）について話される会話から、物事を提案したり、相手の発言を称賛する仕方学ぶ。 ・比較に関する様々な用法と表現を理解し、物事の状態を分かりやすく説明することができる。 ・提案する表現や称賛する表現を学び、適切な提案と受け答えができる。			単元テスト	○	○	
						ワークブック			○
						教科書点検			○
						その他課題	○	○	○
学習の アドバイス	授業中に学習したことを何度も繰り返し、使えるようになることを目指してください。								